

平成 27 年度 第 3 回 富里市子ども・子育て会議 議事録

1. 日 時 平成 28 年 2 月 19 日 (金) 13 時 00 分～14 時 20 分
2. 場 所 富里市役所 本庁舎 3 階第 3 会議室
3. 出席者 荒野峰之委員、藤崎武彦委員、大木みわ委員、荒居久子委員、宮川朱美委員、渡邊薫委員、勝又千恵子委員、龍岡達子委員、横山智志江委員、西澤譲一委員  
(欠席者) 高嶋理恵委員、越野記代子委員、中島耕一委員、渡辺雅子委員
4. 傍聴人 0 名
5. 議 題
  - (1) 会長及び副会長の選任について
  - (2) 子ども・子育て会議の経緯及び進め方
  - (3) 子ども・子育て環境整備工事の進捗状況
  - (4) 株式会社による認可保育所の設置等
6. 会議の経過

事務局：定刻となりましたので、平成 27 年度第 3 回富里市子ども・子育て会議を始めさせていただきます。会議に先立ちまして、委嘱状交付式を執り行います。委嘱状ですが、代表で荒野峰之様に交付させていただきたいと思っております。荒野様よろしくお願ひいたします。

～委嘱状交付～

ありがとうございました。なお、他の委員の皆様には、お手元の資料と一緒に委嘱状を配布させていただいておりますので、ご了承いただきたいと思います。また、委嘱期間につきましては、前回の任期からの継続となっております。会議開催日の都合により、委嘱状の交付が遅れましたことお詫び申し上げます。

それでは、会議に入るに先立ちましてご報告をさせていただきます。本日の出席委員でございますが、14 名中 8 名の委員が出席いただいております。富里市子ども・子育て会議条例第 6 条第 2 項によりまして、委員の半数以上の出席がございますので、本日の会議が成立していることを御報告させていただきます。

それでは、改めまして平成 27 年度第 3 回富里市子ども・子育て会議を開催させていただきます。まず初めに富里市長相川堅治より御挨拶を申し上げます。相川市長よろしくお願ひいたします。

市 長：お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。富里市は今子育てに懸命に取り組んでいるのが実情でございます、今回 1 歳児が 70 名を越

えまして、40人以上の待機児童が1歳児だけでいらっしゃる状況となっております。千葉県を見まわしますと待機児童が発生している市町村の方が少ない状況でして、富里市の待機児童が特に増えているということは、うれしいといえましょう。何としても待機児童を解消していきたい。そして、子育てのしやすい街にしますと約束させていただきましたので、何としても子どもを産み、育てやすい富里市にしていきたいと思っております。皆様方に、いろいろなことをお願いしたり、御意見を聴くようになると思えますけれども、忌憚のない御意見を遠慮しないで言っていただいた方が良いと思えますので、よろしく願いいたします。今日は本当にありがとうございます。

事務局：ありがとうございました。続きまして、本会議の委員の皆様方を御紹介させていただきます。名簿順に御紹介させていただきますので、その場で御起立をお願いいたします。まず初めに、子どもの保護者であり市民公募により選出されました、3名の方を御紹介いたします。荒野峰之様です。藤崎武彦様です。もう一方、高嶋理恵様がいらっしゃいますが、本日は所用により欠席となっております。

続きまして、学識経験者として選出されました植草学園大学名誉教授でございます大木みわ様でございます。続きまして、関係団体からの推薦者5名を御紹介いたします。富里市PTA連絡協議会会長でございます荒居久子様でございます。富里市民生委員児童委員協議会会長でございます宮川朱美様でございます。富里市小中学校校長会から富里市第一小学校校長でございます渡邊薫様でございます。もう二人関係団体推薦者といたしまして富里幼児教育研究会から青空保育園園長でございます越野記代子様と日吉台幼稚園園長でございます中島耕一様がいらっしゃいますが、本日は所用により欠席となっております。

続きまして、事業者からの推薦者5名を御紹介いたします。社会福祉法人富里社会福祉協議会ファミリーサポートセンターアドバイザーでございます勝又千恵子様でございます。医療法人社団知己会龍岡クリニック院長でございます龍岡達子様でございます。医療法人社団知己会保育課統括責任者でございます横山智志江様でございます。富里市商工会事務局長でございます西澤譲一様でございます。もう一方事業者推薦者といたしまして千葉県ヤクルト販売株式会社センターマネージャーでございます渡辺雅子様がいらっしゃいますが、本日は所用のため欠席となっております。以上14名が本会議の委員の皆様方になります。よろしく願いいたします。

続きまして、事務局の職員を紹介させていただきます。健康福祉部長の尾崎でございます。子育て支援課子ども子育て政策室の高橋でございます。同じ

く子育て支援課子ども子育て政策室の齋藤でございます。同じく子育て支援課子ども子育て政策室の鶴澤でございます。子育て支援課児童家庭班の中澤でございます。子育て支援課幼保連携推進班の大木でございます。教育委員会教育総務課長の榊原でございます。また、子育て支援課長の金杉ですが、本日保育関係の会議により欠席させていただいております。以上が事務局となりますので、よろしくお願いいたします。

市長は、この後公務がございますので、只今をもちまして退席とさせていただきます。

市長：よろしくお願いいたします。

事務局：これでは、これより議題に入らせていただきます。本日の議題はお手元の資料でございますとおり4件でございます。最初に議題（1）会長及び副会長の選任でございますが、会長が決まりますまでの間は、私が議事の進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。会長の選任でございますが、富里市子ども・子育て会議条例第5条第1項の規定によりまして、会長は互選により定めることとされております。会長の選任につきまして、委員の皆様方がいかがいたしましょうか。

委員：事務局一任でよろしいかと思えます。

事務局：ただいま事務局一任の発言がございましたが、いかがでしょうか。

委員：異議なし

事務局：異議なしと認め、事務局一任をさせていただきます。それでは、事務局案の説明をお願いいたします。

事務局：事務局といたしましては、地元の方であり、幼稚園児、保育園児を数多く見られ、富里市の子育て環境にも大変お詳しいことまた、これまでの富里市子ども子育て会議の会長を務めていただいていたことから龍岡委員にお願いしたいと考えております。

事務局：ただいま事務局より龍岡委員を会長に推薦したい旨の案が出ましたが、委員の皆様いかがでしょうか。

委員：(拍手)

事務局：それでは龍岡委員に富里市子ども子育て会議の会長をお願いしたいと存じます。改めまして拍手をもって御承認をお願いいたします。

委員：(拍手)

事務局：ありがとうございました。それでは、会長が決定いたしましたので、私の任はここで終わらせていただきます。御協力ありがとうございました。ここからは龍岡会長に議長を務めていただきたいと思いますので、申し訳ございませんが、会長席の方に移動をお願いいたします。それでは、就任にあたりまして龍岡会長から御挨拶を賜りたいと存じます。よろしくお願いいたします。

会 長：ただいま会長を賜りました龍岡と申します。よろしくお願いいたします。普段は子どもの健康とか病気の子に寄り添っている日々でございますが、前回もこの会議に参加させていただきまして子育ての環境とかそういうことに目を向ける姿勢も強く感じたしだいでございます。国も子育てに対するいろいろな対策を打ち出しているところでございます。ただ、いろいろな問題が山積しております、保育士の人員不足や待機児童、時間外保育、学童の問題とか富里市においても問題が山積している状況だと思います。しかし、この前の子ども・子育て会議も含めましていろいろな待機児童解消に向けた対策等を進めているようですので、そのような話も含めて委員の皆様いろいろな立場からの活発な御意見や御討論などをよろしくお願いいたします。まとめ役を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、副会長の選任を行いたいと思います。事務局より選任の方法について説明願います。

事務局：富里市子ども・子育て会議条例第5条第1項の規定によりまして、副会長は委員の互選により定めることとされておりますのでよろしくお願いいたします。

会 長：事務局の説明によりまして副会長の選任は、委員の互選ということでございますが、皆様御意見等ございますか。

委 員：宮川委員がよろしいかと思いますが、皆様いかがでしょうか。

会 長：宮川委員を推薦する意見が出ましたが、いかがでしょうか。よろしければ拍手をお願いいたします。

委 員：(拍手)

会 長：それでは、副会長は宮川委員に決定させていただきます。改めまして宮川副会長から御挨拶をお願いいたします。

副会長：前回もやらせていただきまして、段々忙しくなって皆様に御迷惑をお掛けすると思っておりますが、今、子育てに関して虐待も多いですし、連日テレビを賑わしていますが、少しでもいい方向にいけばいいと思って日々過ごしております。どうぞよろしくお願いいたします。

会 長：それでは、議題（2）の子ども・子育て会議の経緯及び進め方について事務局より説明願います。

(事務局より説明)

会 長：事務局から子ども・子育て会議の経緯及び進め方について説明がございましたが、何か御意見御質問はございますでしょうか。特にないようでしたら、次の議題に進みたいと思います。

子ども・子育て環境整備工事の進捗状況について事務局より説明願います。

(事務局より説明)

会 長：子ども・子育て環境整備工事の進捗状況について事務局より説明がございました。前回の会議でも駐車場の位置など安全に考慮してなどの御意見もあつたと思いますが、そのあたりも考慮して工事が進められていると了解してよろしいですか。

事務局：前回、委員の皆様から御意見をいただいたものを反映しながら工事を進めている状況でございます。

会 長：その他御意見御質問は何かございますでしょうか。

委 員：質問ではないのですが、パッとみても全体の状況がとてもわかりやすい説明で安心しております。

会 長：この工事終了後、何人ぐらいの定員の増となるのでしょうか。

事務局：向台こども園については、定員が 141 名となります。また、同時に葉山保育園につきましても定員を 150 名に増員する計画で現在進めております。

委 員：こども館の 1 日あたりの利用者数はどのくらい見込んでいますか。

事務局：子育て支援センターの年間の利用人数が約 1 万人という状況と学童クラブが併設されますので、それ以上のご利用があると考えております。

会 長：その他何かございますでしょうか。他になければ次の議題に進みたいと思います。議題（4）株式会社による認可保育所の設置等について事務局より説明願います。

(事務局より説明)

会 長：株式会社による認可保育所の設置等について説明がございましたが、御意見御質問はございますでしょうか。

委 員：株式会社のことが気になって調べてみました。いろいろな会社と提携していて安心して保育園の運営ができるのかなと思っております。保育園としては全く問題ないのではないかと考えていますが、1 点だけ気になるところがあります。私もこの場所を調べてみました。朝 7 時半から 9 時の間と夕方 5 時台は、車の台数がこの細い道増えるので小学生・中学生の通学路の安全確認を小学校・中学校とうまく連携していただければと思います。

委 員：ちょっと気になるところは、駐車場が 14 台で間に合うのかというところです。登園してくる時間帯はだいたい一緒だし、帰りの迎えの時間もそんなにはかわらないと思うのでそこが少し気になるところです。

委員：御説明の中に今このころ 24 施設の運営ということでさきほど他の委員からもありましたが、きちんとした会社ということで経済的基礎があるのではないかとということと社会的信望は得ているということと安心しております。運営方針の（13）施設長及び職員確保についてというのがございます。施設長というと法令上施設長に関する資格については書いてないと思うのですが、指針とか確認すると本当に責任重大な職務だなと思います。ある程度福祉職の経験があって実務に精通されている方でないとこれだけのことを管理していくのは大変だなと思っております。そのように考えると施設長について保育士資格を有し 2 年以上の勤務経験ということで記載されていますが、最低でも 2 年以上とお考えだと思いますが、2 年やって精通するような経験が積めるのかどうか不安と思っております。職務の重さを考えると本当に精通された方が必要だと思いますし、施設長になってからも研修等を確実に受けていかないといけないのではないかと感じております。それからその中で次のページに「保育士の採用について大きな問題はないと考えております」とありますが、保育士の人材不足というのを聞いておりますので、本当にそうなのかなと感じています。今までがそうであっても、佐倉市や成田市で大丈夫でも富里市で行うとどうなのかというところが少し心配でございます。

委員：みなさんが心配されていることはだいたい一緒だと思いますが、企業の大小に関わらず私たちは富里で生活していて富里で子育てをされていて申し訳ないですけど、よそからきた会社が富里のことを熟知しているとは到底思えないです。行政がしっかりサポートしてあげることが重要なのではないかと思います。またそれを子ども・子育て会議の委員私たちが細かいアドバイスをしてあげることができればいいのではないかと思います。

会長：他に保育システムとかの御意見等はございますでしょうか。保育室が 3.4.5 歳で一緒であるとか専門的な立場からいかがでしょうか。

委員：意見ではないのですが、気になって調べてみたのですが、この企業とても近代的な会社のようにです。保育士さんのシフトを自動的に振り分けるシステムや子どもの登園がパネルにタッチすると遠隔で親がわかるとか I T 進んだ保育園とかを運営しているようです。

事務局：本日、参考として 2 月に開園しました佐倉市のあいあい保育園のパンフレットを配布させていただきました。佐倉市の保育園につきましても、2.3 歳と 4.5 歳が同室という構造で定員 60 名で開設している状況です。

委員：特色のところを見ると英語とか数字とかひらがなとかあるので興味のある親御さんとかはいらっしゃると思います。私立の幼稚園とかだと直接申し込んで入園できる形だと思うのですが、保育園だと今現在、私立保育園でも市からの振り分けになっていると思いますが、この保育園もそのようになるので

しょうか。

事務局：他の私立保育園と同様の取り扱いになると思います。

会 長：あとはさきほど他の委員の方も心配されておりましたが、富里市が目指している質の高い教育・保育で英語等もあるからいいのかわかりませんが、保育ということに関して何か御意見ございますでしょうか。

事務局：事務局から本日欠席されている委員の方からも御意見を事前にいただいておりますのでご報告させていただきます。平成29年4月に公立でこども園が2園開園する中でさらにもう1園開園すると待機児童が解消される点では良いと思うが、質の高い教育・保育となるとどうなのかということがある。公立2園をまず開園し、その後もう1園開園する流れだと一番良いのではないかと思います。もう1点、こどもが減っていく中で建物だけ建ててこどもが少なくなっていくことを考えると継続してこの事業者が事業を行っていいのかという心配があるという意見がございました。もう一方につきましては、3.4.5歳児が同じ部屋で保育を行うとなると安全で質の高い教育・保育が提供できるかどうか懸念されるのではないかと御意見をいただきました。

委 員：ずっと保育に携わってきましたが、これからの保育は年齢というより子どもたちの興味・関心を大事にする。一人ひとりの個性を大事にする保育に変わってきている。定員が少なく、3.4.5歳の人数がすし詰め状態でなければ広い場所で座れば隣の友達は見えないが、立てば見える環境のもとでそれぞれが興味を持った場所で年齢に関係なく保育をしていくことに移りつつありますので、これからの保育がしやすい状況であると思います。0.1.2歳はしっかりと安全・安心な場所であるという考えであるが、3.4.5歳になりますとそういう保育形態が今勉強されていますのでこれからの保育はいいのではないかと思います。私が少し気になったのが他の委員の方からもありましたが、園長が保育経験2年以上というのがこれから勉強するにしてもスタートラインでベテランの保育士さんが揃っていればなんとか可能かもしれませんが、危機管理が非常に大事になってきますので園長は園長経験者が来るといいのかなと思います。

委 員：今おっしゃったような心配ごとに対して市としてどのくらいのサポートをするのか現時点で考えがあるのかももう少し説明してもらえるとありがたいです。

事務局：まだ事業者との協議はこれからも続けていきます。今回の会議で終了というわけではございません。みなさまの御意見を頂戴しながら特に園長経験者の採用であったり、富里市の状況を踏まえた園の運営であったり、設置場所の状況等も説明しながら改善に向けて事業者も努力していただきたい旨の協議もこれからも進めて行きたいと考えております。

会 長：委員の方からも御意見がありましたが、待機児童が一時的には解消されるが、

さらに将来を見据えると子どもの数も減少するのではというお話もありましたがいかがでしょうか。

事務局：市長の御発言にもありましたとおり、現在待機児童が大変多い状況でございます。平成29年4月にこども園が2園開園いたしますが、それだけでは当然待機児童解消には至らないこととなります。やはり民間事業者のお力をお借りしながら今後待機児童解消に向けて市としても取り組んでいく必要があるということは前提なのですが、やはり質の高い教育・保育ということを経営計画の中でも掲げておりますので、今後民間の事業者様との協議にあたりましても市の方針をしっかりとお伝えしながら進めていただければいいなと考えております。

委員：実際に今3番目が2歳で保育園にいるのですが、保護者の方と話すときやっばり私たちが一番望んでいることは、待機することなく子どもを安心して預けることができる、そして親は心置きなく働くことができる環境が整うことがまず第一に望んでいることです。そういう面では、民間の事業者様が入ってくることは、子育て真っ最中の親としては大変ありがたいことです。ただ、その後のこどもが減少してくることに對してこの事業者に関わらず富里市内の保育園・幼稚園の運営の在り方だと思うので、各々の事業者・園長が考えていただきたいことだと思いますが、私たち親の勝手な意見になってしまうが、1年先送りにするとこどもは成長しますし、職場に復帰できるチャンスを掴まれてしまうのでなるべく待機児童の解消を強く望みます。

委員：富里市は幼稚園が結構多いと思いますが、このような施設がいきなり3園建ってしまうと幼稚園との共存とか幼稚園は公立が多いので0.1.2歳児の乳児の待機児童解消のための乳児施設を造ってそこから幼稚園に繋げていく流れができると乳児が増えたり減ったりしても融通が利く施設ができれば共存できるのではないかという考えもあるかと思います。

会長：他に御意見等ございませんでしょうか。

委員：富里市の未来に渡ってまでの施設や運営について考えるのは、とても難しそうだけれども、素敵なことだと思います。実績のある新しい会社が入ってきたらおそらく今までの保育園と違うところがたくさんあるのではないかと思います。そのようなことで触発されてももとのところもお互いに刺激し合って変化していけるのは私は良いことだと思います。私どもは、学生を保育園とか幼稚園へ送り出している方なのですが、せっかく親がパートまでして大学を出して資格をとって就職しても1か月で辞めてしまう子がいます。ダメな子が辞めてしまうのは、仕方のないのですが、とても優れた子でもやめてしまうことがあります。割と幼児教育は私立で任されてやってきたことがあり、そのようなところは代々方針のようなものがあります。気分的にその方

針に合わないとすぐに辞めてしまう。こどもは大好きで仕事も大好きでこの仕事を選んだけども、同僚や園長とか園の方針とかが合わないで辞める子たちがいてそういうのは大変惜しいと思います。世代間のギャップというのが、昔よりかなり大きいと思います。日常的に使う語彙の違いからある。うちの園の方針はずっとあたたかさとかやさしさとか麗しい言葉で表現されているところがあって非常に良い言葉だけれども、今風で表すとどうということかというのを誰かが翻訳できないと学生には伝わらないことがあります。子どもの人数が減っていても幼児期を終えた子たちというのは、実際に自立していくまでの年月というのは、誰かが見ないとはいけません。市としたら小学校に入ったらそこで保育の仕事は終わりではなくて、そのあとその子たちがその辺ふらふら歩きださないようにその子たちをしっかりと捕まえる方策が必要だと思います。不登校になる子達の裏には多くが貧困や家庭崩壊などがあります。そういう状況だと子たちが未来というのを自分で構築できなくて路頭に迷うことがあります。小学校に行っているからいいやではなくて育てる立場の人たちが残るのであれば、目的を失わないで成人するまでここにいれば大丈夫というようにやっていければあまり子どもが少なくなったら経営が成り立たないんじゃないかということよりも少しプラスになるのではないかと思います。また、新しい形の会社が入ることで伝統的なやり方じゃないやり方で若い保育士さんが辞めるのを防げればいいなと思います。古い感覚の人と若い感覚の人の間に通訳できる方がいないのが現状だと思います。保護者の方は、幼稚園に入りたいとおっしゃる人が多い。幼稚園に入りたいのは、学校に繋がる教育が受けられるという感覚を持っている。昔からイメージで幼稚園の方が保育園より一段高いところにあるような感覚がまだ払拭されていない。今回の保育園は、ただ預かっているだけではなくて、そのような教育の部分の売りにしている。他の保育園もやっていると思いますが、看板にはしていないと思います。幼児教育ということを看板にしている保育園がきたら、ただ預けておくのではなく0~2歳児に相応しい教育を受けられるという保育園が始まってくれると他の保育園にもいい影響を与えてくれると思っています。預ける場所ではなく、育てる場所として保育園はあることをアピールできるチャンスだと思います。富里の地盤が荒らされてしまうという感覚よりも富里も新しい感覚を取り入れて富里も変わっていくという雰囲気の方が、若い人にはいきやすいと思います。

委員：単純な質問なのですが、認定こども園ができた場合、0~3歳児までの定員が公立でどのくらい増えるのか。実際に受け入れられる人数がどれだけ増えて待機児童がどれだけ減るとというのが数字上でわかればありがたいです。今日でなくていいのでよろしく願いいたします。

事務局：葉山保育園と向台こども園が平成 29 年 4 月に認定こども園化されますと 0 歳児で 24 名，1 歳児で 32 名，2 歳児で 30 名，3 歳児 27 名の増員が予定されております。

委員：今，富里市の 4 園ありますが，そのうち 2 園は 40 年～50 年富里市で保育園を行っています。企業が入ってくることによって既存の社会福祉法人の保育園も特徴を出していかないと生き残れないという競争的なところは歓迎するのですが，認定こども園が入ってきたので保育園も養護と教育ということで教育面は 3.4.5 歳になると教育的な保育が強くなってきています。保育園では教育してないと思われてしまうのですが，必ず教育的視点がいっぱい入ってきています。既存の保育園のいいところは，何十年やってきていて保育の積み重ねをしてきている安心感があります。また，英語とかやっていくということでやはり福祉施設だと思うので，福祉面がおろそかにならないような市の方の管理・監督をお願いしたいと思います。

事務局：承知しました。

委員：計画書 11 ページの待機児童のデータをみておりますが，平均すると 0 歳児は毎年 30～40 人で推移しております。新しく増員できるのが公立で 24 名，この株式会社で 6 名，合計 30 名。どうしても 10 名程度不足するのではないかと思います。待機児童 0 を掲げているのであればやはり 0 歳児がネックになるのではないかと思います。1 歳児からは数字上は待機児童はなくなると思いますが，0 歳児の対応を検討していただければと思います。

事務局：すみません。訂正させていただきたいと思います。平成 29 年 4 月時点での 0 歳児の増員が 15 名です。失礼いたしました。

会長：現在も将来にかけても富里市が学童クラブの充実やこども館の充実とか不登校のこどもたちの対応とか保育園・幼稚園・こども園含めて富里市として考えていただきたい部分かなと思いました。

委員：学童ですと現在小学生までですが，中学生になった時に行き場がない状況があります。中学生になったからいいだろうというのが問題であります。部活でも一生懸命やっていたらいいですが，中学生になると親も働きだす方も増えているので，その辺りをもう少し富里市として中学生・高校生とか集えるような場所があればなおいいのかなと思います。

事務局：いろいろ貴重な御意見ありがとうございました。この株式会社との今後の進め方ですが，本日いただきました貴重な御意見を今後協議の中に取り入れていきたいと考えておりますが，例えば施設の見学ですとかそのようなことはご予定の方がよろしいでしょうか。直近でいきますと佐倉市に同規模の保育園が開設させておりますし，最終的に意見を取りまとめていくうえで，事前に施設の見学をしていただきながら最終的な意見をいただければ事務局と

して、また委員の皆様も実際に目で見ていただきながら判断いただけるとありがたいのかなと考えておりますが、いかがでしょうか。

委員：いいと思います。

会長：ではそのような方向で進めていただければと思います。

事務局：ありがとうございます。事業者側のスケジュールで申し訳ないのですが、28年度早々には市との協議は終了し、次に千葉県との協議に進んでいきたいという予定となっておりますので、平成28年度に入りましたら子ども・子育て会議を設定させていただきながら施設の見学も含めて調整させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

会長：その他何かございますでしょうか。

富里市子ども・子育て支援事業計画の見直しや定員その他斬新な計画があれば御報告をお願いいたします。保育料が0とかあればお願いします。

これで議事が終了いたしましたので、事務局にお返しいたします。

事務局：長時間ありがとうございました。その他何か皆様からございますでしょうか。

平成27年第3回富里市子ども・子育て会議を終了いたします。ありがとうございました。